

We' re the world.

学校名	愛知県豊明市立豊明中学校		授業者氏名	河村 知里
対象学年 (人数)	中学校1年生(200名)		実践年月 (時数)	2023年 12月 (2時間)
担当教科等	英語			
単元名 (活動名)	We' re the world.			
実践する 教科・領域	英語、学活、総合的な学習			
学習領域	A 多文化社会 … 文化理解 (○) / 文化交流 (○) / 多文化共生 (○) B グローバル社会 … 相互依存 (○) / 情報化 () C 地球的課題 … 人 権 () / 環 境 () / 平 和 (○) / 開 発 (○) D 未来への選択 … 歴史認識 () / 市民意識 (○) / 社会参加 (○)			
単元目標	・世界の中の日本やネパールの立場を知り、世界とつながることの大切さを考える。 ・地球に住む1人としてできることを考え、行動するきっかけをつくる。			
単元の 評価規準	知識および技能	・世界や地域の問題について知る。 ・〈want to〉の文構造を理解している。		
	思考力、判断力、 表現力等	・世界や地域の問題について伝えるために、自分がしたいことについて、 〈want to〉を使った文で表現できる。 ・世界とつながることの良さと課題を考えることができる。		
	学びに向かう力、 人間性等	・世界や地域の問題について、自ら考えそれに対して自分ができる行動につ いて考える。		
単元設定の 理由・意義 (児童生徒観、 指導観、教材 観から)	・温暖化など一つの国だけでは解決が難しい課題が増えている。また、日本は外国人労働者や 外国籍生徒が増えている。そのような状況下にいる上で、世界とのつながりを知り、世界全体で 取り組むべき課題について自ら考え行動する力が必要だと考えたため。			

[単元計画（全8時間）]

時	ねらい	学習活動	資料など
1	ネパールについて事前アンケート調査を行う。	○ネパールについて知っていることの調査を行う。 ・ネパールの位置や食事、言語など知っていることを出す。 ○ネパールの人達に聞きたいことをまとめる。 ・英語でネパールの人たちに聞きたいことを言う。	・愛知県国際交流協会「私たちの地球と未来 ネパール版」
2	ネパール語について学ぼう！	○ネパール語でメッセージを書こう！ ・英語、ネパール語、日本語で将来の夢を書く。	
3	ネパールと肯定的に出会おう！～文化編～	○好きな食べ物や出身地から世界とのつながりを知る。 ・アイスブレイク【4つの角】 *好きな食べ物 *出身地 ○写真クイズ ・トイレの写真 ・信号 ・お茶 ・商店街の様子	・ネパールで撮影した現地写真
4	ネパールと肯定的に出会おう！～学校編～	○動画クイズ ・ネパールの学校の様子を見て、日本の学校との似ているところと違うところについて気付く。	・ネパールで撮影した現地動画
5 本時	日本とネパールの食糧自給率について知ろう！	○食料自給率とは何かを知る。 ○日本の食料自給率だけでご飯を作るとどうなるか体験する。（イラストを使用） ○輸入食品がなくなったらどうなるかを、派生図を書いて考える。	・NHK for School「食糧自給率」
6 本時	日本の外国人労働者とネパールの出稼ぎ労働者について知ろう！	○日本の総人口と外国人労働者数の変移について知る。 ○外国人労働者 職業別ランキング【ランキング法】 ○日本にいるネパール外国人労働者【ジグソー法】 ○外国人労働者がいなくなったらどうなるかを、派生図を書いて考える。	・「外国人雇用状況」の届出状況まとめ
7	世界とのつながりについて考えよう！～もの編～	○「昨日お世話になったもの」を書き出す【ブレーンストーミング】 ○書き出したものをジャンル別にグループ化する。 ○どの国から来たものかをタブレットを活用し、調べる。 *どの国からの輸入が多いかを調べ、1位の国を書く。	
8	今後世界とどう関わるか考えよう！	○今課題だと思ふものをたくさん出そう！ ○世界が取り組むべき課題と日本が取り組むべき課題【二次元軸】 ○行動宣言（want to を使った文を書く）	・「Sustainable Development Report 2023」

[本時の展開（5時間目）]

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率について知ろう。 ・世界とつながることのよさを知ろう。 		
過程・時	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料
導入 [起] 10	1、日本の食料自給率を知る。 (1) 食料自給率とは何かを知る。		・NHK for school 映像「食料自給率」
展開 [承] 10 (20) [転] 20 (40)	2、日本の食料自給率だけで生活する場合を考える。 (1) 輸入なしの食生活について体験する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教員の指示で、画用紙を開く。 ・感じたことを全体で共有する。 3、輸入なしの生活について考える。 (1) 日本が鎖国し、輸入品がなくなったらどうなるかを考える。〈派生図〉 (2) 他の班が派生図に書いたことを見て回る。〈ギャラリー方式〉 <ul style="list-style-type: none"> ・良いと思った意見には星マークをつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙を半分に折り、その中に、日本産のものだけの食事イラストを貼っておく。 ・外国籍生徒も身近に感じることができるように、ブラジルやフィリピンの場合も体験させる。 	・農林水産省「食料自給率」
結末 [結] 10 (50)	4、本時を通して考えたことをまとめる。 (1) 感想を書く。 (2) 感想を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに行う。 	
評価規準に基づく 本時の評価		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が日本の食糧自給率について知識として得ることができた。 ・生徒はネパールの自給自足生活について知ることができた。 ・生徒は世界とつながることで、どのような良い点があるのかを学ぶことができた。 (生徒の振り返りシートより)	

[本時の展開（6時間目）]

ねらい	・外国人労働者と共に生きる大切さについて学ぶ。		
過程・時	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料
導入 [起] 5 (5)	1. 日本の実情を知る。 (1) 日本の総人口と在日外国人数を知る。 (2) 在日外国人が増えていること、市内総人口に対して、何%在日外国人が住んでいるのかを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に感じることができるよう、データは生徒が生まれた年と現在のデータを活用する。 ・都道府県データや市町村データも活用することで、自分事として捉えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年末現在における在留外国人数について [出入国在留管理庁]
展開 [承] 20 (25)	2. 多くの在日外国人労働者が従事している職種について知る。 (1) 外国人労働者仕事ランキング。〈ランキング法〉 (2) 在日ネパール人労働者について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「介護職」「ホテル業」「農業」「飲食業」で働いているネパール人のインタビュー資料を読んで学ぶ。 〈ジグソー法〉 ・同じ班の子に資料の説明と分かったことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班で相談して行う。 ・外国人労働者数が多い職種のランキングを考える。 ・1人1資料を担当し、班の仲間にわかるように伝えるように指示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和4年10月末現在) [厚生労働省] ・介護職:「ひょうご介護アナウンス」 ・ホテル業:「株式会社 Funtoco」 ・農業技能実習生「World Favour Overseas」
[転] 20 (45)	3. 外国人労働者がいなくなったらどうなるか考える。 (1) 外国人労働者がいなくなったら。〈派生図〉 (2) 考えを共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・班で出た意見を全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班で行う。 ・模造紙に書く時には、考えを言った上で書くように指示する。 ・生徒がランキング結果なども踏まえて考えることができるようにする。 ・他の班では出なかった意見を共有するように指示をする。 	
結末 [結] 5 (50)	4. 本時を通して考えたことをまとめる。 (1) 感想を書く。 (2) 感想を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに行う。 	
評価規準に基づく 本時の評価		<ul style="list-style-type: none"> ・世界とのつながりについて身近に感じたり、深く考えることができた生徒が多かった。(生徒の振り返りシートより) 	

〔総括・まとめ〕

学習方法および外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・協同的な学びや生徒が主体となって学びに取り組むことができるよう、班編成やグループワーク、課題設定を行なった。 ・ICTを効果的に活用し、情報収集など自ら進んで学びに向かえるようにした。 ・外国籍生徒が多いため、外国籍生徒の出身国文化も取り入れて、学習がより充実したものになるように努めた。
学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・他教員へのネパール研修報告会(特に防災教育、ネパールの教育事情、国際協力の観点を中心)を行なった。 ・文化祭でネパール現地で購入した物品や現地で撮った写真を展示し、全校生徒だけではなく保護者にもネパール文化を学べる展示を行なった。 ・授業での様子は、学級通信などに載せて、保護者にも周知した。
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・より自分ごととして考えることができるように、日本の現状や他国との比較が行う必要があり、教材準備が苦労した。 ・外国籍生徒にも分かりやすいように、外国籍生徒の出身文化についても学び取り入れる必要があった。 ・外国籍生徒の自文化という認識が日本なのか、母国なのかをしっかりと把握し配慮しないと傷つけることもあるため、特に配慮した。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、学校や学年全体として、総合的な学習における国際理解教育の授業時間設定をしっかり設け、確保する必要がある。年度はじめに国際理解教育の時間を確保しておく準備などで動きやすいと感じた。
成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が世界で起こっているニュース(例えば、イスラエルとパレスチナの問題やアメリカの選挙、ウクライナでの戦争など)に対する関心が高くなった。 ・外国籍生徒の文化についても関心をもつ子が増え、交流している様子が以前より増えた。
学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパールを含め、海外にあまり興味がなかったり、他国の文化を知らない生徒の多くが「海外に興味をもった」「もっと学びたい」と感想に書いていた。 ・自分も世界と繋がりたいと考える生徒が増えた。 ・ネパールだけではなく、ウクライナやイスラエルとパレスチナ問題など、学習中に世界で起こった内容も含めて話をしたことで、より世界について学びたいという学習意識が高まった。
授業者による自由記述	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がもっている専門的知識や関心については他教員にも会話などから広げていったり、管理職の先生にも伝えていったりすると、教員向けの実践報告の場を設けてもらえるなど実践の場が増えていくと実感した。身近な周りから発信していくことが大切だと考えた。 ・教員自身が国際理解教育に対する熱を保ち続け、授業に取り入れたり、行動に移したりすることが大切だと思った。
単元構想・実施における参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県国際交流協会「私たちの地球と未来」(国ごとの基本情報やクイズの参考) ・JICA 実践事例・学習指導案 国際理解協力について ・「身近なことから世界と私を考える授業3『自分ごと』として学ぶ17ゴール」開発教育協会(DEAR)

[学びの軌跡（児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）]

私は今まで一度も日本から海外に行ったことがないのでたくさんのことをしれたのでとても楽しかったです！！

もっと多くの国のことを知りたい

最近よくテレビで報道されているニュースと関連付けて外国で起こっていることを話してくれるのでわかりやすいです。今後も色々な国のことを学びたいです。

ネパールの人々の生活や文化など、知らないことがたくさん学べたので良かったです。

ネパールやイスラエルは日本と比べると信号がなかったり、電線の線がたくさんあったり、日本では考えられない面白いことがたくさんある！私も実際に行って、さらに日本との違いを探したい！

ネパールに関してはあまり知識がなく、名前だけ知っている国だったのが、前よりもどんな国なのかがわかって、楽しかったです。イスラエル、パレスチナ、ウクライナは、なぜ戦争になっているか、今どういう状況なのか理解出来ました。ニュースや聞いたことのあるだけだったことが色々わかって、嬉しかったです。今後も日本以外の国のこともたくさん知りたいです。

日本以外の国に行ったことがなく、あまり興味がなかったし、私は、ネパールという国自体を知らなかったもので、どういうものがあるのか、日本と比べて、なにが違うのかということが学べてよかったし、ネパールだけでなく、他の国のことも同じようにに知れて、楽しかったし、もっと考えが深まりました。

・どのような文化で、どのように暮らしているのか

もっと他の国のことを知りたいと思った

おんなじ人間だから知れば知るほど楽しくなると思いました。

同じ世界に住んでいてもルールや言語、歴史など色々違って行くんだなと思いました。ご飯を食べるときはネパールでは手で食べるでも左手で食べると左手でお尻拭くから左手で食べたら汚いって言われるのは初めて知りました。海外には不思議がたくさんあるなと思いました。

外国のことを知ることで有名な所、食べ物などを知れて楽しいなと感じました。今後もこのような外国のことについて学ぶ時間も必要だと思いました。

▲ 生徒の感想例

考えたことはみんなそれぞれに違って考えも色々あって日本の好きなものもあったり色んな国とこうやって繋がって行けることってとっても良いことなんだなと思いました

ネパールの話を聞いて実際にネパールの人にあって仲良くなりたいと思いました。それでネパールを楽しみたいなと思いました。

▲ 生徒の感想例

最近よくテレビで報道されているニュースと関連付けて外国で起こっていることを話してくれるのでわかりやすいです。今後も色々な国のことを学びたいです。

世界にはまだ、自由に豊かな生活がおくれている、人がたくさんいると、学んだ。

今後は、募金などをし、世界を明るくしたいと思った。

ガザ地区の問題やロシアとの戦争について詳細がうまく理解できなかったけれどとても深刻な状況であることや私達の助けが必要不可欠であることがわかりました。これからは募金箱などを見つけたら率先して募金をしたいし、国際的な理解を深めるために自分から調べて自分から理解を深めて協力をしてけたら良いなと思いました。

考えたことはイスラエルやパレスチナやウクライナの戦争早く終わってほしいと思った。今後学びたいことは今問題になってることや国の文化、国の歴史について学びたい。

▲ 生徒の感想例